



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2019年08月26日 第933号「週刊五十嵐レポート」

活路は足元にあり

父親が経営していた印刷業を継承したA氏の話。

A社は特定の業界・団体に特化した印刷業。父親の代では、競争もなく、業績は安定して、自己資本比率も高い企業だった。それがA氏が承継した頃から時代も変わり、特定の業界・団体は市場規模が縮小し、仕事は単独受注していたものが競争入札に変わり、A社の業績はじりじりと減少していった。

時代は紙媒体からデジタル化になっていったため、印刷物は減少傾向にある。A氏も事業をデジタル化に進めていった。そして法人が顧客だったところから個人を顧客にする事業も進めていった。さらに強い会社がいる事業に参入した。それが迷走のはじまり。自社の強みが解らなくなっていった。

「時流」。その時代の風潮・傾向の意味。優秀な経営者ほど、時流にいかに乗るか考える。しかし、易经では、「時流を追いかけるものは時流とともに滅びる」としている。まさにデジタル化は時流である。しかし、A社は得意としていない。そして強い競争相手も多数いる。

「活路は足元にあり」。行き詰まったときには、焦らず、できるところから見直す。チャンスはいつも身近にある。

A社は特定の業界・団体の先にある企業から継続的に仕事があった。小ロットだが、しっかり粗利がとれた。ほとんど営業しなくても仕事をとれていた。「シンデレラ商品」である。そこでA社は、ニーズのある企業群をまとめてみた。同業者は気づいていない。ようやくA社でも一番になれる可能性があるものを見つけた。

「兆し」。現象に顕れるずっと以前から信号を発信している。氷山の一角。水面下には大きな氷の塊が隠れている。この「兆し」を観る目を持つことができれば、氷のかげらを通して全体像を把握することができる。兆しを観る目を養うことが経営者は大事。A氏は当初隣の芝生を見ていた。しかし足下に「シンデレラ商品」(氷のかげら)に気づき、水面下の塊を予測し、行動に移すことができた。

ちょっと
気になる出来事

8月25日付、日経新聞に「パラスポーツ裾野広がる」という記事。障害を持つ人たちが、スポーツに取り組む機会が広がっている。きっかけは2020年東京パラリンピックを見据え、東京都や競技団体が開催してきた選手発掘プロジェクト。メダルを狙う選手にならなくても、競技の楽しさに触れ、続けていく人を増やす。

障害者がスポーツに参加することは素晴らしいこと。スポーツは積極的な精神を育てる。健常者である私も6年前に近くにジムができたおかげで、継続的に水泳などの有酸素運動とヨガによる体の柔軟性を伸ばしている。おかげで、仕事もプライベートも健全に送っている。

最近、新聞紙上でも「健康経営」という活字を見る。健康保険組合を取り巻く環境が厳しい。企業負担の増加に繋がる。それを防止するために、企業自ら、従業員の健康保持・増進の取り組みを投資と考え、従業員の健康⇒生産性向上⇒組織の活性化⇒業績向上・企業価値向上へ導く。

社長の正しい戦略⇒良い仕組み⇒現場(従業員の仕事術)⇒業績向上を踏まえつつ、会社全体の健康維持・増進を進めていくこと。



一口メモ
知識

妄想は精神的なダメージ

「忙しい」と言う人は、じつは頭の中で妄想がグルグルと回っているのです。

無駄に生産性のない妄想に時間を取られているのです。さらにそれは、精神的なダメージにもなります。

忙しく動き回らなくても、妄想は止めるだけで、必要なものはぜんぶそろってきます。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルポムツレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL 03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com



新経営の
志手帳